

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和8年3月31日

公表: 令和 8 年 3 月 31 日

事業所名 放課後等デイサービス こくりこじもくじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		適切です。一人当たりのスペースを基準以上に確保しています。	今後も継続していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準人員以上の人員を配置しています。	今後も継続していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差など転倒がないよう見守り必要に応じて支えるなど配置します。	今後も継続していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所ミーティングや月1回の全体ミーティングを行っている。	今後も継続していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年実施しており意見を真摯に受け止め、改善に努めています。	今後も継続していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しています。	今後も継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今のところ実地予定はありません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		地域主催の研修への参加、事業所内での勉強会を定期的に行っています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		どんな事も話し合える信頼関係を築けるように心掛けています。	今後も継続していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントツールも検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムが固定化しないように、毎月のミーティングで活動内容を考えています。	今後も継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		SNSなどを参考に新しい活動も取り入れるようにしています。	今後も継続していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		タイムスケジュールの中で課題を決めて取り組むようにしています。	今後も継続していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個人に合わせて話し合いをしながら計画書作成をしています。	今後も継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングで話し合っています。	今後も継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		一日の振り返りをし、気になる点など話し合い今後の支援に取り入れていきます。	今後も継続していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		サービス実施記録、報告書に記録しています。	今後も継続していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員全員で話し合いながらモニタリングを作成をしています。	今後も継続していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		特性に合わせて必要な支援をしています。	今後も継続していきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や現場職員が参加しています。	今後も継続していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		日頃から双方の情報共有をするなど関係性作りをしています。	今後も継続していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて連絡を取り合っている。	今後も継続していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		支援会議に参加させて貰っています。	事業所から発信できるようにしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加し、アドバイスを頂いています。	今後も継続していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後、交流出来る機会を模索していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加しています。	今後も継続していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や情報ツールを使って児童の状況を共有し、課題などあればその都度話し合いを行うようにしている。	今後も継続していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ミーティングなどで家族支援プログラムの話し合いを行うようにしている。	今後も継続していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	今後も継続していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時に対応させてもらったり、希望に応じて面談を行っている。	今後も継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年に一度、保護者会を実施しています。	今後も継続していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった時はしっかり対応させていただきます。	今後も継続していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを使用して活動カレンダーや連絡事項などの情報発信をしています。	今後も継続していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには十分に気を付けています。	今後も継続していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別対応するなどの配慮をさせて頂いています。	今後も継続していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民が参加できるようなお祭りなどを考えていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		周知しています。	今後も継続していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半年に一度、避難訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		日頃から職員同士で声掛けあい、研修等で学べるようにしています。	今後も継続していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		保護者、児童に分かりやすく丁寧に説明することを心掛けています。納得してもらい双方合意のもと、計画書に記載しています。	今後も継続していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に書いてもらうアンケートにて確認し職員間で周知しています。	新たなアレルギー症状がある場合は都度事業所へ連絡をお願いしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを書いた日に改善策など話し合い、次につなげていきます。	今後も継続していきます。